

指導ガイド

子どもの貧困を見える化するには？

1. 指導対象 高校1年生～
2. 指導時間 2時間
3. 数学内容 指標の作成，代表値など
4. 指導にあたって

この授業では，生徒は様々なデータから指標を作成する活動を行う。平均値をはじめとする代表値も，意思決定をするための一つの指標である。データを語る際に，指標によって見方が変わること，また，より適切な指標を作成するにはどうすればよいかを考える姿勢などを学ばせたい。

一方で，社会性のあるデリケートなテーマであるので，扱う際には細心の注意が必要である。

子どもの貧困を見える化するには？（１）

問題 今、「子どもの貧困」が教育上の大きな問題となっています。これは、必要最低限の生活水準が満たされておらず心身の維持が困難であったり、その国の貧困線以下の所得で暮らしたりしている 17 歳以下の子どもの存在及び生活状況を言います。

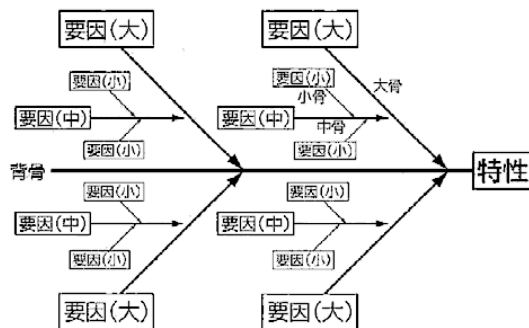
日本においては、内閣府が「生活保護世帯に属する子供の高等学校等進学率」や「就学援助制度に関する周知状況」などの 33 項目の指標により、子どもの貧困の状況を把握しようとしています。

しかし、この測り方はまだ研究途上であり、生活を左右する他の要因が加味されていないことが課題として挙げられます。

日本における子どもの貧困の現状を把握するために、新たな指標を作成してみよう。

- 1 (条件整理) 「子どもの貧困」につながると考えられる要因を、特性要因図を用いて、挙げてみよう。

下のような図を、特性要因図というよ。結果（特性）に行き着くまでの原因の候補を網羅的に抽出することで、相対的な因果関係の仮説を図示したものになるよ。



子どもの貧困に見える化するには？（２）

2（現状把握）**1**で挙げた要因から主要因と思われるものを選びましょう。また，それについて，行政や地方自治体等が示しているデータなどの資料をもとに，指標を作成し，分析してみよう。

3（ふり返し）ここまでの問題解決をふり返って，指標の問題点や改善点を挙げ，どう修正すればよいか考えよう。

（感想）

子どもの貧困に見える化するには？（１）

問題 今、「子どもの貧困」が教育上の大きな問題となっています。これは、必要最低限の生活水準が満たされておらず心身の維持が困難であったり、その国の貧困線以下の所得で暮らしたりしている 17 歳以下の子どもの存在及び生活状況を言います。

日本においては、内閣府が「生活保護世帯に属する子供の高等学校等進学率」や「就学援助制度に関する周知状況」などの 33 項目の指標により、子どもの貧困の状況を把握しようとしています。

しかし、この測り方はまだ研究途上であり、生活を左右する他の要因が加味されていないことが課題として挙げられます。

日本における子どもの貧困の現状を把握するために、新たな指標を作成してみよう。

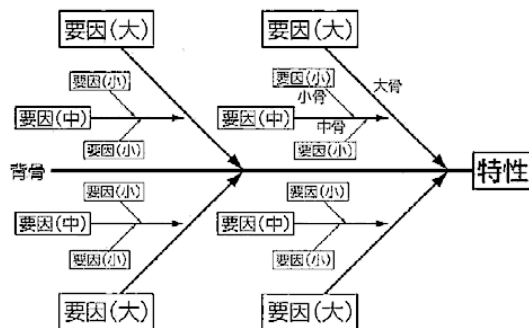
- 1 (条件整理) 「子どもの貧困」につながると考えられる要因を、特性要因図を用いて、挙げてみよう。

< 解 >

例えば

- ・ 社会の低賃金労働者の多さ
 - ・ 子ども（教育）への支援の少なさ
 - ・ 子どもの無料の遊び場の減少
- など、新聞記事やニュース等で聞いたようなトピックを挙げる。

下のような図を、特性要因図というよ。結果（特性）に行き着くまでの原因の候補を網羅的に抽出することで、相対的な因果関係の仮説を図示したものになるよ。



子どもの貧困を見える化するには？（２）

- 2 (現状把握) 1 で挙げた要因から主要因と思われるものを選びましょう。また、それについて、行政や地方自治体等が示しているデータなどの資料をもとに、指標を作成し、分析してみよう。

<解>

例えば、「子どもの無料の遊び場の減少」であれば、国土交通省の「都市公園データベース」や環境省の「自然保護各種データ」により、各都道府県の公園の面積のデータが入手可能である。また、総務省統計局の人口推計から子どもの人数のデータが入手可能である。

それらのデータから、人口密度（所有公園面積÷子どもの人数）を指標とすることなどが考えられる。例えば、東京都では

公園の面積：3077[都市公園]+79889[自然公園]+6611[国立公園]+777[国定公園]=90354(ha)

子供の人数：1535000 人

であるから $90354 \div 1535000 \approx 0.0589(\text{ha})$

すなわち $0.0589 \times 10^4 = 589 \text{ m}^2$ であるので、遊ぶには十分な土地を東京都は所有していることになる。

- 3 (ふり回り) ここまでの問題解決をふり返って、指標の問題点や改善点を挙げ、どう修正すればよいか考えよう。

<解>

例えば、東京都は十分な土地を所有していると判断できるが、

- ・諸島部のデータも入っていること
- ・気軽に遊べる公園と比較すると、扱う公園のデータが広すぎることで

などが問題点として挙げられる。

改善の方法としては、実際に地域の地図を利用することがあげられる。

「地図による小地域分析」 jSTAT MAP

(<https://jstatmap.e-stat.go.jp/gis/nstac/index.html>) などを利用し、身近な公園周辺の子どもの人口などを表示させ、半径何 m 以内の人口密度を計算することなどが挙げられる。

(感想)

() 組 () 番 名前 ()
